

NASUMACHI

議会だより

No. 167

令和5年
2月1日発行



なすのそら
保育園



「ちょっとかしこまって
お点前ちょうだいしま〜す」



4年間を振り返り……2	議会報告会……3	チェック! 町へ要望書提出……4	第6回定例会……6	一般質問……8
広報の視察……17	議員見聞録……18	町民の声……19	高校生模擬議会……20	

4年間を振り返り



薄井爾議長

4年前の町議選は、定員3名減の13名の議員選挙になりました。その当選議員も2期目の議員7名、初当選の議員が6名という経験の少ない議員構成となりました。町民のみなさんも不安に思ったのではないかと思います。その中で、議長という大役に就き、議会としての役割を果たすために何をすべきか考え、議会の運営を行いました。

各議員もそれを自覚し、自己研鑽に努めしっかり議会の役割を果たしてきたものと思っております。さらに、那須町議会の前進のため、議会改革に努めた2年間でもありました。

また、栃木県町村議会議長会の会長や広域消防議会の議長など、良き経験をさせていただいた議長期間でありました。



池澤議長

議長就任時には、① 議会活動、運営のルールを心得た適正な運営を行い、議会に対する信頼感を得なければならない。② コロナ禍での地域経済回復など議会・行政と一丸となった救済対応。③ 今まで以上に町民の声に耳を傾け、町意思決定機関としての機能を十分に果たす。④ 未来を担う子どもたちにとって、「もっと身近な議会となるため」の取組みなどを所信表明しました。この2年間を振り返りますと

- 1 議会に関する条例、規則、申し合わせ事項の見直しに取組んだこと。
- 2 経済対策補助金事業に議会の意志を反映させられたこと。
- 3 議会情報について伝達手法の幅を広げたこと。
- 4 陳情等について結果報告に審査内容を加えたこと。
- 5 高校生模擬議会を開催したこと。

など議会として成果のある2年間でした。

皆様のご協力をいただきながら議長職を全うできたと考えております。

那須町議会 年表

年 月	主な出来事
H31年2月	議員定数を3名削減し13名体制となる。
R1年 6月	議会広報モニター制度の導入 議会改革度ランキング (2018) 全国第300位
R2年 3月	予算審査特別委員会の通年化
6月	議会改革度ランキング (2019) 全国第286位
12月	委員会代表質問の試行 タブレットPCの導入
R3年 6月	議会改革度ランキング (2020) 全国第60位
8月	那須町議会 LINE 利用に関する規程の制定
9月	ペーパーレス本会議の導入 (予算・決算書を除く。) 那須町議会議員間討議実施要綱の制定
12月	委員会代表質問の導入 議会基本条例の一部改正 (議決事件の追加)
R4年 2月	なすまち議会だより第157号が令和3年度町村議会広報表彰(第36回広報コンクール)奨励賞(企画・構成部門)を受賞
3月	議員提案で「那須町ケアラー支援条例」を制定
4月	那須町議会パブリックコメント制度に関する要綱の制定
5月	広報誌等配信アプリ「マチイロ」「栃木イーブックス」により議会広報誌の配信を開始
6月	議会改革度ランキング (2021) 全国第32位
9月	那須町議会基本条例の検証を導入
10月	新年度予算に対する要望書の提出(議会初) 那須町議会業務継続計画(BCP)の策定
12月	那須高校生模擬議会開催(議会初)

議会報告会(意見交換会)を開催しました

開かれた議会を目指して

多くのご意見の中から一部を紹介いたします

前号に続き意見交換会をレポート

4つの会場で自治会長等と意見交換会を行いました。

- ◇伊王野基幹集落センター 10月17日
- ◇千振公民館 10月18日
- ◇高原公民館 10月19日
- ◇町文化センター 10月21日



意見

- ^{※1}小地域福祉活動の集まりに議員も参加して、課題を共有してほしい。
- シニアクラブのリーダー不足が悩みだ。
- 湯本温泉街の活性化に力を入れてほしい。
- 那須開拓道路(矢板西郷線)の整備を本格的にしてほしい。
- レストラン蒸気汽関車付近は児童の通学路になっているが、歩道がなく危険。
- 自主防災組織をどのように立ちあげていいのかわからない。相談する先がない。
- 道の駅東山道伊王野の農産物出品者が少なくなっている。後継者不足問題に議会も取組んでほしい。
- 元から住んでいる人と移住者に隔たりがあること、自治会員の減少対策と今後のあり方が課題。
- 人口減少対策について、工業団地など企業誘致を進める必要がある。学校跡地の活用もある。



レストラン蒸気汽関車付近の通学路



道の駅東山道伊王野 物産センター

※1…サロン活動や見守り活動など、身近な地域で住民が主体となる福祉活動



那須町自治会連合会長
鈴木友実さん

今後も引き続き
議会報告会を開催していただく
ことを希望します。

地域と町をつなぐ自治会長。問題解決のため議会との連携。

自治会長には地域住民からさまざまな問題について相談が寄せられる。なかには自治会長個人では解決できないような難しい課題もあり、大変な苦勞をなされていることがわかった。

今回の意見交換会においても、子どものことから高齢者のこと、道路や公共交通、防災などさまざまな視点からの意見をいただいた。

問題解決のため、議会と自治会長との連携が今後の重要な課題である。

新年度予算編成における要望書及び令和4年政策提言書を町長へ提出!

議会報告会（意見交換会）を通じて町民からいただいた意見等や所管事務調査、行政視察などで得た知識や情報に基づき協議を行い、議会の総意として新年度予算編成における要望書及び令和4年政策提言書を町長へ提出しました。



10月21日に提出した新年度予算編成における要望書

議会で初めての取組みとして、令和5年度で予算化が必要な政策6項目を町へ要望しました。



消防団幹部との意見交換会

1 消防団員の処遇改善等について

- 地域消防力を維持した団員定数の見直し
- 町独自の支援制度を含め、消防団応援の店を増やす
- 団員の準中型自動車運転免許の取得への助成

2 町内産農作物の消費拡大について

- 学校給食に乳製品や牛乳を使った献立の拡充
- 給食に提供される米の割合を増やす
- 学校給食用那須和牛購入費の増額

3 小中学校トイレの暖房便座化

4 那須町福祉タクシー料金利用助成事業の対象者の条件緩和

5 高久地区周辺に新たな町営住宅や宅地分譲地の整備

6 公共施設の照明器具LED化等、省エネルギー化



要望書を提出する議長と副議長

12月21日に提出した令和4年政策提言書

持続可能なまちづくりを実現するための重要な政策として9項目を町へ提言しました。

1 自主防災組織について

課題 自主防災組織と消防団が独自に活動しており情報共有が出来ていない

提言

- 町内全域で自主防災組織の結成を促進
- 町が自主防災組織と消防団との話し合いの場を設定
- モデル地区を設定し地元消防団との連携方法や手順を普及

2 自治会の負担軽減について

課題 自治会の担う役割は多くその負担は大きい、また加入者が増えない

提言 ・行政から自治会への依頼業務の見直し

3 自治会未加入者への対応について

課題 自治会未加入者は行政からの情報が十分に得られていない

提言 ・自治会に頼らない文書配布の仕組みの構築

4 耕作放棄地の有効活用について

課題 農業離れが近年急速に進み、耕作放棄地が広がっている

提言 ・耕作農地の拡大を目指した圃場整備事業の推進
・新規就農者の体験談や農機具の紹介などの情報をホームページ等の媒体で発信
・商品価値の高い野菜や短年で成木になる木の植樹等、町特産物の創出



政策提言書を町長へ提出

5 企業誘致の推進について

課題 企業誘致については、交通アクセスの有利さが活かされておらず、進展が見えない

提言 ・国道沿いやインターチェンジの地理条件を生かした物流倉庫や商業施設の企業誘致
・県との連携を急ぎ、産業団地の用地を選定

6 省エネルギーの推進について

課題 那須町地球温暖化防止実行計画に基づき、町が率先して省エネルギーを推進するとともに、町民への省エネルギー支援に取り組む必要がある

提言 ・ロードマップ等、具体的な取組みを推進
※1 エスコ
・ESCO事業を活用し公共施設の省エネルギー化と省エネルギー家電購入支援の実施

※1…省エネルギー改修にかかる全ての経費を光熱水費の削減分で賄う事業

7 放課後児童クラブについて

課題 運営上の保護者役員の負担が大きく、また、児童一人当たりの町支援額は、近隣市に比べ少ない

提言 ・クラブの運営を民間事業者等に委託



放課後児童クラブでのお迎え

8 部活・スポーツ少年団の活動について

課題 町内各小学校の部活やスポーツ少年団の活動における指導者が不足しており、大会出場を辞退することもある

提言 ・児童生徒の興味、関心等に応じてスポーツ活動が行える環境の構築
・チームを統合するなど部活動の継続化を図る
・土曜日に指導者が保育園等に子どもを預けられるよう利用条件の緩和

9 ケアラー支援の実行について

課題 ケアラー支援条例が制定されたが具体的な取組みが遅れている

提言 ・ケアラー支援推進計画の早急な策定

11月30日～12月14日

第6回定例会 審議結果と賛否状況

上程議案・概要	審議結果
条例制定等	
那須町役場課設置条例の一部を改正する条例について 企画財政課を廃止し、新たに企画政策課と財政課を設置する	原案可決 (全員賛成)
那須町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告に伴い、特別職の給与について改正する	原案可決 (全員賛成)
那須町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告に伴い、職員の給与について改正する	原案可決 (全員賛成)
人事案件	
教育委員会委員の任命について 教育委員会委員の辞職に伴い、金田裕美子氏を任命	原案同意 (全員賛成)
人権擁護委員候補者の推薦について 人権擁護委員の任期満了に伴い、笹沼弘憲氏を推薦	原案同意 (全員賛成)
指定管理者の指定	
指定管理者の指定について 那須スイミングドーム及び余笹川ふれあい公園の管理運営業務の指定管理者の指定	原案可決 (全員賛成)
補正予算	
令和4年度那須町一般会計補正予算(第7号)について 総額 141億9,870万円 補正額 6億7,160万円 【主な内容】 ・ふるさと納税推進費 2億4,810万円 ・飼料価格高騰対策臨時支援費 5,020万円 ・温泉旅館等エネルギー価格高騰対策支援費 3,400万円	原案可決 (全員賛成)
令和4年度那須町一般会計補正予算(第8号)について 総額 142億820万円 補正額 950万円 【主な内容】 出産・子育て応援費(出産する方などへの支援金) 950万円	原案可決 (全員賛成)
令和4年度那須町国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について 総額 36億2,740万円 補正額 9,790万円 【主な内容】 給付の増加による一般被保険者療養給付費及び療養費の増額補正	原案可決 (全員賛成)
令和4年度那須町介護保険特別会計補正予算(第2号)について 総額 30億3,030万円 補正額 8,090万円 【主な内容】 償還金及び一般会計繰出金の増額補正	原案可決 (全員賛成)
令和4年度那須町下水道事業特別会計補正予算(第1号)について 総額 6億360万円 補正額 1,350万円 【主な内容】 一般会計繰出金及び物価・原油価格高騰に伴う経費に係る増額補正	原案可決 (全員賛成)
令和4年度那須町宅地造成事業特別会計補正予算(第1号)について 総額 4,100万円 補正額 1,370万円 【主な内容】 委託料及び土地購入費の増額補正	原案可決 (全員賛成)
議員案	
那須町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について 人事院勧告に伴い、議員報酬について改正する	原案可決 (全員賛成)

※ 議長は賛否同数の場合のみ加わります。

11月7日に政策懇談会を開催しました

次のテーマに対し、町執行部と「将来に向けた取り組み」や「次年度の取り組み」について、町の考えを聴き、政策を進めるための政策懇談会（意見交換会）を実施しました。

- 農林業の活性化対策について
- 国内外からの誘客促進対策について
- 町有地の有効活用について
- 環境問題について（地球温暖化防止対策）
- 環境問題について（除染廃棄物等の対策）
- 学校運営の将来構想について



那須町議会業務継続計画（那須町議会BCP）を策定

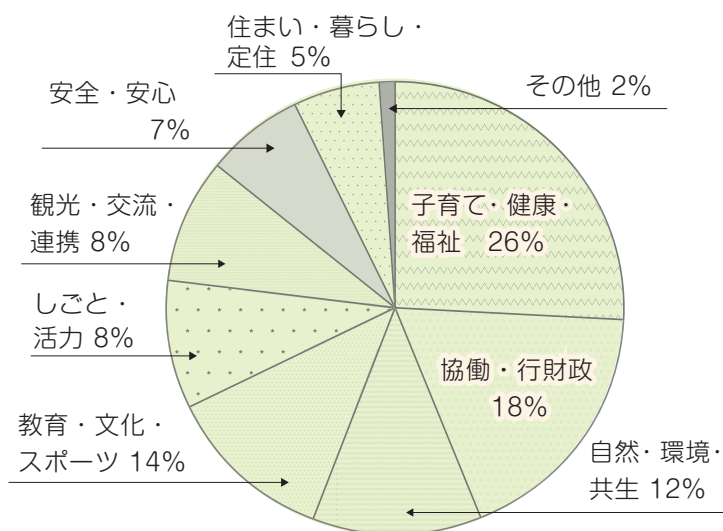
「那須町議会災害対策行動マニュアル」（平成29年）と「新型コロナウイルス感染症に対する議員の行動基準」（令和2年11月20日最終更新）を策定し行動してまいりましたが、大規模災害や新型コロナウイルス感染症の拡大などの緊急事態が発生した際においても、議決機関として議会の迅速な意思決定と議会の機能維持を図るため、災害時の組織体制や議員の役割、行動方針などを定める「那須町議会業務継続計画（那須町議会BCP）」を10月26日に策定しました。

一般質問実施状況（平成31年3月～令和4年12月）

この4年間で合計937問の一般質問を行いました。これを那須町振興計画の基本方針に沿って、内容別に質問項目を単純集計した結果をお知らせします。

4年間で最も質問の割合が多かった項目は、「子育て・健康・福祉」に関する質問で全体の26%となっています。これは、令和2年当初に発生した新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、子ども子育て施策や高齢者福祉に関する質問が多かったことが主な理由です。

次に多いのは「協働・行財政」に関する質問で18%を占めています。行財政改革やDX対応、町有財産の有効活用など、行政運営全般に関し幅広く質問を行った結果です。



4年間の一般質問の内訳





▲動画配信が見られます

議員のつぶやき
町民目線で
早急な対応を
望みたい



むろいたかお
室井高男

■ 幼児・学校教育の総合支援について

質問 放課後児童クラブの運営支援は

町▶負担軽減の提案等を継続する

問 保育園と幼稚園の幼児教育の違いによる就学時の違いは。

答 〔教育長〕
施設の違いは差異ではなく、特色と捉えている。

問 年齢に合わせた統一的な幼児教育を行う考えは。

答 〔こども未来課長〕
幼稚園、保育園ともに特色ある幼児教育を行っており現在はない。

問 小学生のスポーツ少年団活動をどのように位置づけているか。

答 〔教育長〕
保護者と地域が連携を図りながら活動するもの。スポーツ少年団活動の在り方についても十分検討する。

問 小中学校の部活動における監督、指導員不足の支援は。

答 〔学校教育課長〕
中学校では県の事業により3名の指導者を配置した。小学校では保護者や地域の方に指導者ををお願いすることを、まずは考えている。

問 保護者会による放課後児童クラブ運営に対する支援は。

答 〔こども未来課長〕
事務的な負担軽減の提案等を継続したい。



■ 定住促進について

質問 町有地の新たな宅地分譲は

町▶適した町有地はない

問 定住促進のために町有地を活用した新たな土地分譲の考えは。

答 〔ふるさと定住課長〕
宅地分譲に適した町有地が現在はないので、考えていない。

問 民有地を取得し分譲する考えは。

答 〔ふるさと定住課長〕
住民のニーズや社会情勢、町の財政状況などを総合的に勘案して、必要に応じ検討したい。

問 老朽化した町有住宅の新築、リフォームの今後の予定は。

答 〔ふるさと定住課長〕
公営住宅等長寿命化計画に基づき、定期的な点検、診断、計画的な改修を滞りなく行う。

問 未利用別荘地の利用推進を図る考えは。

答 〔ふるさと定住課長〕
民間の別荘地、特に土地のみについて、行政が関わることは非常に難しい。所有者等から相談があった場合は、町と協定を結んでいる栃木県宅地建物取引業協会に情報提供を行いながら進める。



▲動画配信が見られます

議員のつぶやき

質問項目を絞り切れず再質問が少なくなりました



うすい ひろみつ
薄井 博光

共同利用模範牧場の運営について

質問 現状、酪農振興に寄与しているのか

町 ▶ 酪農振興全体に寄与している

問 模範牧場を利用している町内の酪農家数は。

答 〔農林振興課長〕
町内の酪農家8戸が牧場を利用している。

問 8戸の酪農家が牧場を利用しているが、町内全体の酪農家数は。

答 〔農林振興課長〕
71戸を把握している。

問 町は指定管理費や機械設備などに、年間約3,500万円を支出しているが、現状、酪農振興に寄与しているのか。

答 〔農林振興課長〕
施設の規模・能力に見合った預託牛を受け入れ、適切な牧場の運営を行い、酪農振興全体に寄与していると考えている。

問 施設の激しい老朽化に加え、現状の利用状況を考えたとき、このまま町営による牧場運営を継続していくのか。

答 〔農林振興課長〕
牧場運営の継続については、町内の酪農家のニーズや広大な牧場用地の有効活用を考慮し、総合的な観点から検討していく。



那須町共同利用模範牧場

旧立正校成会の建物利用について

質問 建物に関する今後の計画は

町 ▶ 地元の要望等を踏まえ検討

問 町が取得して5年以上が経つ。庭部分は広場として整備されたが建物は耐震基準以下であり手つかず状態である。今後の計画は。

答 〔企画財政課長〕
建物の経年劣化が進んでいる。地元の要望を踏まえつつ、建物利活用とともに、取り壊しも含めた整備計画が必要と考えている。

問 建物利用が進まない状況だが、そろそろ方向性を出すべきでは。

答 〔企画財政課長〕
現地確認をしたところかなり腐食しており、立地的な課題もあるがスピード感を持って進めていく。

問 まちなか広場の整備はなされたが、トイレがなく不便であるとの声がある。整備についての考えは。

答 〔町長〕
トイレが必要であるとの町民の声は聞いている。舞台や倉庫など建物全容についての地元の要望をしっかりと聞き、トイレ整備も検討していく。



有効利用が待たれる旧立正校成会の建物

◇ほかに「人口減少対策」の質問もしています。

重要課題は
早急に解決していく
必要がある



▲動画配信が見られます

みちぶしん

ふるさと道普請事業について

質問 申請できなかった人への対応は

町 ▶ 来年度予算で優先的に対応



たけはらつくお
竹原亜生

問 ※1
ふるさと道普請事業予算が9月で上限に達し、町民は申請が出来ない。町を良くしたいと思っている町民の活動意欲が削られるが対応は。

答 〔建設課長〕
予算300万円に対し過去3年の決算は、平均約180万円であったが、今年度は、豪雨で9月に予算上限に達してしまった。申請できなかった団体には、来年度優先的に対応する。

問 補正予算や予備費を活用し継続すべきだが出来なかった理由は。

答 〔建設課長〕
財源に限りがあるため、当初予算の範囲内でお願いしたい。

問 地域住民が地域を良くしようとする活動を支援するのが町ではないか。重要な事業には、柔軟な対応が必要では。

答 〔町長〕
事業の状況については理解をしており、危険性がある場合は対処する。来年度は申請できなかった方を優先し、予算以上に要求があった場合にも、しっかりと検討する。



※1…地域住民が労力を提供して自分たちの通行している道路を整備し、道路整備に必要な砂利等の原材料を町が支給する事業。

黒磯那須北線について

質問 地域住民との話し合いは

町 ▶ アンケート調査や意見交換を行う

問 令和7年に完成する黒磯と当町を結ぶ黒磯那須北線は、人や物の交流が増えるだけでなく商店や企業の進出、さらに住宅需要が高まるなど、移住促進にも大きく期待できる。黒磯那須北線の完成を想定に入れた土地利用計画の進捗状況は。

答 〔町長〕
新高久周辺地区の土地利用について、住宅用地利用を中心に、商業施設の誘致を図る方針である。しかし、有効利用できる町有地の宅地がないため、区域内をエリア分けし、具体的な土地活用についての課題を抽出している。

問 利用できる適切な町有地がないとのことだが、地域住民と土地利用計画について話し合いを行い、土地利用を具体的に進める考えは。

答 〔企画財政課長〕
民有地の土地利用に関し、住民の方から意見を聞くことが重要であり、アンケートや住民の方から意見をいただく機会を設けた。



那珂川をまたぐ新しい橋のイメージ

◇ほかに「火災対策」、「ケアラ―支援条例」などについても質問をしています。



▲動画配信が見られます

議員のつぶやき

稀少生物を保護育成する施策が町に必要です



たかはし あきら
高橋 輝

自然・環境・共生のまちについて

質問 ナスヒオウギアヤメ保護へ補助金は

町 ▶ 関係課と協議する

問 特定外来生物のアレチウリ、オオカワヂシヤの対策は。

答〔環境課長〕
生息状況を調査・把握し、必要な際は対策を講じる。

問 ^{※1}来年度、条件付特定外来生物に指定されるアメリカザリガニを有効利用するために、有機肥料として堆肥化する考えは。

答〔環境課長〕
有効な手段と理解している。対策が必要な際は視野に入れて考える。

問 要注意外来生物リストに掲載され、近年町内でも生息が目立ってきているセイタカアワダチソウの駆除活動を積極的に行う考えは。

※1…外来生物法の一部規制を適用除外とする特定外来生物（アカミミガメ、アメリカザリガニ）の通称。これらについては「飼養等の禁止」と「譲渡等の禁止」は適用されない。ただし、販売や頒布、野外への放出は禁止されている。

答〔環境課長〕
地域での駆除活動の実施について、広報紙、ホームページでの周知を図る。

問 ^{※2}池田地区のナスヒオウギアヤメ保護活動に補助金を支出する考えは。

答〔環境課長〕
要件や要綱を確認後、必要性や重要性を加味し、関係課と協議する。

問 環境学習の一環としてナスヒオウギアヤメの保護活動を行う考えは。

答〔学校教育課長〕
選択肢のひとつとして地元の学校に情報提供したい。

※2…那須町と那須塩原市の一部にだけ咲く絶滅危惧種。昭和37年に宮内庁職員が発見し、昭和天皇が研究し、名づけられた。

しごと・活力のまちについて

質問 牛乳を利用した「那須の食」開発は

町 ▶ 那須未来と共に検討したい

問 畜産業の副産物である堆肥の利用促進を図る考えは。

答〔農林振興課長〕
需要は高まっている。^{※3}耕畜連携、資源循環の取組みを実施していく。

問 水田を利用した園芸作物の推進を図る考えは。

答〔農林振興課長〕
品目、品種の選定等、関係機関と連携して支援をしたい。

※3…水田作などの耕種農家と乳牛や和牛などの畜産農家が、飼料生産や堆肥利用などで連携すること。

問 本年「那須町牛乳等消費拡大応援条例」が制定された。「那須の食」として、牛乳を多量に消費できるクリームシチューやグラタンといったメニューを開発する考えは。

答〔副町長〕
本町は酪農・畜産が伸びている。友愛の森のレストランも新しくなるので、そういった新商品の開発を(株)那須未来と提携し検討したい。

問 白河市等で設置されている空き店舗バンクを設置する考えは。

答〔観光商工課長〕
現在は設置する考えはないが、空き家バンクと空き店舗バンクを同じ仕組みで運用している那須烏山市等を参考に調査研究をする。



▲動画配信が見られます

議員のつぶやき

特色ある教育を柱に
さらなる工夫で移住
定住を推進したい



たむらなみゆき
田村 浪行

行政の効率向上の取組みについて

質問 データを根拠に施策を進める考えは

町 ▶ EBPMの有効性は認識している

問 少子高齢化が進む中で将来を見据えた
※1 EBPMを進める考えは。

〔副町長〕

答 情報統計等のデータを活用したEBPMの推進は、政策の有効性を高め町民の信頼確保につながるものと認識しているが、あらゆる情報を調査し政策を進めるには、時間的、資源的にも困難である。まずは状況に応じた政策構築も必要。

※1…(エビデンス・ベースド・ポリシー・メイキング Evidence-Based Policy-Making) 合理的根拠に基づき、より実行性の高い政策を立案すること。

問 地域住民の幸福に資する具体的な要素である「健康・文化・仕事・生活・教育」の分野における満足度データを活用して施策を進める考えは。

答 〔企画財政課長〕

第7次那須町振興計画策定時に、町民意識のアンケート調査を実施し各種施策を定めている。住民にとって何が必要か、何を求めているのかを適切に把握することが重要であると認識している。

魅力ある町づくりの取組みについて

質問 教育を柱とした町づくりは

町 ▶ 町発展の原動力となる人づくり

問 魅力ある町づくりに教育を柱として取り組む考えは。

答 〔教育長〕

教育の基本理念である「夢・感動あふれる人づくり」の実現に向けて、妊娠期から生涯にわたってのライフステージ別に、将来の発展のための原動力となる人づくりを推進している。

問 若者が町にUターンやIターンを促進する奨学金返還の支援策は。

答 〔学校教育課長〕

移住定住策としての奨学金返還の支援は、本町に在住し既に奨学金の返還をしている方との公平性等を考慮し、今後は他自治体の動向を注視しながら慎重に検討していく。

問 放課後児童クラブ内でWi-Fiの整備はされているのか。

答 〔こども未来課長〕

数カ所のクラブの保護者会では設置をした。なかにはタブレットを壊してしまう可能性があるため、あえて設置はしていないクラブもある。



◇ほかに「県の子ども医療費助成」についても質問をしています。



▲動画配信が見られます

議員のつぶやき

町のオリジナルな発展のためにも、歴史を大切にしなければ



ひらやま てるたか
平山輝貴

■ 歴史的資料の保管について

質問 収蔵庫増設のための計画は

町 ▶ 現在は計画がなく今後検討したい

問 町の歴史的資料の収蔵施設を増設する考えは。

答 〔生涯学習課長〕
那須歴史探訪館には5,000点の収蔵品があり、大きいものは田中複合施設にも保管している。増設に対する必要性は認識している。

問 田中複合施設での保管は、空調、防火、耐震など適切か。

答 〔生涯学習課長〕
温度管理が難しいため、それに耐えうるものを選び保管するが、全てを整理出来ているわけではない。

問 収蔵施設増設に対しどのような計画をもって取組むのか。

答 〔生涯学習課長〕
施設に多少の余剰があり利用していきたいが、いつ収蔵庫を作るという計画がなく、今後検討していきたいと考える。

問 「民具」の学校など町有施設での保管は。

答 〔生涯学習課長〕
歴史や文化に触れ合える良い機会になる。学校での保管の可能性を学校や学校関係者と検討していきたい。



那須歴史探訪館収蔵庫に収まりきれない資料

■ 2030年以降の農業生産体制について

質問 耕畜連携による地域農業体制は

町 ▶ 県推進会議による推進

問 人・農地プラン「実質的話し合い」の進捗状況は。

答 〔農林振興課長〕
令和2年度、町内を12地区に分け座談会などを実施。今後、地域計画を策定予定で、アンケート調査や話し合いの場を設け進める。

問 耕畜連携推進による地域農業体制づくりは。

答 〔農林振興課長〕
今年7月に栃木県那須農業振興事務所が中心となり、那須地方耕畜連携推進会議が発足した。耕畜連携の相談、マッチングを関係機関の協力のもと進めたい。

問 人・農地プランの「実質的話し合い」に畜産農家も加わったか。

答 〔農林振興課長〕
コロナ禍もあり参加は少数だったが、今後耕畜連携も必要になってくるので、酪農家を含め様々な業種の農家と一緒に総合的な話し合いを進めていきたい。



※1
ソフトグレインサイレージによる
耕畜連携

※1…収穫した飼料用米を乾燥せず密閉保存して発酵させた家畜用飼料



▲動画配信が見られます

議員のつぶやき
給食無償化は全国で
進展している。
那須町でも前へ



おのようこ
小野 曜子

■ スイミングドームの運営について

質問 灯油、電気料高騰対策は

町 ▶ 基本協定に基づき協議

問 灯油、電気代の大幅高騰でスイミングドーム指定管理会社の経営は圧迫されており、十分な支援、予算増額が必要では。

答 〔生涯学習課長〕
町と指定管理者で、リスク分担を基本協定の中で定めているので今後、協議していく。

問 本庁舎や文化センターなどは、燃料費が上がれば予算上対応しているが、公共の施設でもあるスイミングドームに特別の配慮をする考えは。

答 〔生涯学習課長〕
基本協定に基づき協議した上で対応していく。

問 来年度以降、スイミングドームの指定管理料を増額する考えは。

答 〔生涯学習課長〕
9月議会の補正予算で議決されており、今までより年間100万円増額しているの、基本的にはこの範囲内で指定管理料の契約になる。



スイミングドームを利用する子どもたち

■ 子ども、子育て支援について

質問 重要な施策である給食無償化は

町 ▶ 今の状況では補助の方向

問 学校給食無償化は子育て環境の向上として重要な施策では。

答 〔町長〕
学校環境の中で総合的な支援が重要と考え、現段階では無償化でなく、補助を続けていく方向。

問 給食無償化は子どもの貧困対策につながるのでは。

答 〔学校教育課長〕
町では経済的理由により就学に関する援助費を支給する制度があり、給食費をはじめ就学に必要な費用の援助を受けられる。

問 憲法26条には「義務教育は、これを無償とする」とあり、給食を教育の一環と考えれば、無償化は教育費無償化へ前進するが町の考えは。

答 〔教育長〕
憲法26条は授業料の無償化と認識しており、学校給食法では給食の実施に必要な設備や人件費以外は保護者の負担とされている。また、町は約1,000万円を給食費支援事業として負担している。



那須中学校での給食
この日の献立は「九尾の力飯」

◇ほかに「災害の時の避難所」についても質問をしています。

令和4年 第6回定例会 傍聴者アンケート集計結果

定例会アンケートにご協力いただきありがとうございました。

皆様のご意見を議会活動に反映するよう努めます。

アンケート結果は、ホームページにも掲載しております。



◀他のご意見等は
こちらから



アンケート回収日	傍聴者数	回答者数	回収率
11/30~12/14	30人	25人	83.33%

意見

回答

町議会を傍聴して気づいた点、ご意見をいただきました

議員の町側からの答弁（具体的でないもの多い）に対して、再質問は有効と思った。もっと町長など、トップが答えるべきだと思った。

議会も町長の答弁を多くするように要望しています。また、町長の答弁を引き出すような質問を行うことを心がけます。

町側の答弁は、いつも「できない、やらない」が多く感じます。議員質問の背景を踏まえて、どうすればできるのか、どこまでならできるのか、どのくらいのコスト、期間ならできるのか、前向きな答弁を期待します。やらない、できないの答弁には、何でやらない、できないという理由を補足しないと町民は理解できないと思います。

「やらない、できない」という町の答弁に対して、質問の中で、町民の皆さんに伝わるように質問するようにいたします。

県や他市の意向を気にしながらで、町独自の理念や行動が見えない。課長様方の言葉、町長の言葉はもっともと思える無難さがあり、どこか不自由な印象を受ける。

町独自の理念や行動が皆さんに伝わるように質問の向上に努めます。

議会を傍聴していていつも思うことですが、議場はダークスーツ一色ですね。議員に1人、議会事務局に1人の2人の女性がおられるだけです。女性の議員を増やしていくのは町民（有権者）の責任でしょうか。町職員幹部に女性がいないのは行政の責任だと思います。職員の中には優秀な女性がおられると思います。那須町も早く「おっさん社会」から抜け出して欲しいと思います。

議会も、女性議員や女性幹部職員の少なさは感じておりますが、執行部では女性幹部職員が増えてきておりますので、今後は改善されるものと思います。

時間配分を要検討願います。事前説明に時間を要し、質問を全てできていない議員さんがいる。町からの回答を聞きたいこともあり残念に思う。

事前説明に時間を要していることは反省し、改善していきます。

町議会全般について、ご意見をいただきました

いつも活動ありがとうございます。各議員の方々の活動をもっと発信して町民に近い問題の解決を目指していることをアピールした方が、町政に興味をもついただけるのでは。町、議会議員各々の考え、活動をアピール、理解度を増やさないとはいけません。（アピールが上手くない気がします）

町民の皆さんに活動が理解されるように工夫していきます。

これまで通りではなく、若い人を元気づけられるような、積極的に視野の広い議会・議員活動を望む。

積極的な議員活動を心掛けていますが、若い人の意見を聞いて、元気づけられるよう更なる取り組みを進めます。

陳情など上程、相談を議会議員にお願いする流れをわかりやすくしてもらえませんか。町民の声をすくい上げる場合、意見があってもどう相談していいかわからないという声も多く聞きます。

議会だより等で、陳情や相談の方法をお伝えしたいと思います。なお、議員個人への相談は歓迎しておりますのでぜひご相談ください。誰に相談していいかわからない場合は議会事務局へ気軽にお問合せください。

観光行政に関して、行き届いているとは考えられない。感じられない。

観光関係にはかなり力を入れておりますが、新たな取り組み等を提言できるよう調査研究していきます。

令和4年 那須町議会 議員研修会

更なる議員力向上を図るため
定期的に議員研修会を
行っています。

第2回「町の入札・契約事務について」

於：那須町役場正庁
令和4年10月19日

町総務課職員を講師として「町の入札・契約事務」に関する研修会を開催しました。



内容

- ・ 契約に係る法令等の規律
- ・ 契約の方法 など

入札と契約の位置づけ及び議会との関係性を再確認することができました。

栃木県町村議会議員研修会

於：栃木県総合文化センター
令和4年11月22日

「議員報酬・定数・政務活動費を考える意義と手法」

— 「住民自治の根幹」としての議会の作動 —

講師：江藤俊昭氏
(大正大学社会共生学
部公共政策学科教授)

※令和4年8月には町議会議場においても議員研修会の講師をしていただきました。



内容

- ・ 「住民自治の根幹」としての議会の作動
- ・ 議員定数と報酬の関係について
- ・ 成り手不足の現状と課題について など

成り手不足について、報酬を上げれば議員の成り手が増えるのかという点に対し、冷静な考察がなされていました。また、議会力アップと議会・議員の魅力を伝える事が重要などの指摘がありました。

ほかに、11月14日に第3回「選挙運動費用の公費負担制度について」も開催しました。

◆ 議員の寄附行為の禁止について ◆

公職選挙法の規定により、議員が金品を贈る寄附、地域の催し物へ寸志などを出すことは禁止されています。

また、議員に対し、寄附を出すよう勧誘する、または要求することも禁止されています。みなさまのご理解をお願いいたします。

行政視察

令和4年10月24日・25日

宮城県川崎町、利府町議会広報の先進的な取り組みについて、行政視察を実施しました。広報特別委員会として行政視察は3年ぶりです。

主な調査テーマは

- ① 広報モニターの活用方法
- ② 意見交換会のまとめ方
- ③ 追跡レポートの仕方
- ④ 臨時号発行の仕方



利府町の議会だより



川崎町議場を会場にして



川崎町の議会だより

所感

- ・表紙の写真構図などに強いこだわりを感じた。また、子どもたちの笑顔を多く起用し、好感が持てた。
- ・一般質問した事項について、「その後どうなったか」を追跡レポートしていた。また、余白の使い方や広報モニターは当町とは違う点もあり、今後の紙面づくりに取り入れたい。

ごのへまち
青森県五戸町(人口16,107人、面積177.7km²)

- 期 日：10月27日(木)
- 視察事項：手話言語条例に係る取組み



せいろうち
新潟県聖籠町(人口14,151人、面積37.58km²)

- 期 日：11月17日(木)
- 視察事項：「読んでもらえる」議会広報紙の編集・作成等について



静岡県下田市(人口20,127人、面積104.7km²)

- 期 日：11月21日(月)
- 視察事項：意見交換のテーマ：(友好都市として)今後の1市2町の議会としての関わり方について

ぶんご
大分県豊後大野市(人口33,494人、面積603.4km²)

- 期 日：10月26日(水)
- 視察事項：議会広報紙の編集・発行について

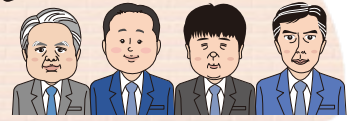
行政視察等を受入れました



那須町議会では、行政視察(委員会・会派等)を受け入れており、全国各地から多くの方々に当町へお越しいただいています。

レポート
第8弾

「那須町音訳ボランティア サークル泉」の巻



サークル泉は、那須町立図書館で、町内在住の視覚に障がいをお持ちの方を対象に「議会だより」、「町広報紙」、「社協だより」などを音訳しているボランティアサークルです。

また、「いずみの玉手箱」としてサークルメンバーが個々に選んだ物語などを音訳して毎月、音訳版を作成し希望者へ届けています。

東日本大震災の時も休止することなく音訳版を送り続けました。



文章はもとよりアルファベット注釈や略語、写真を言葉で伝えるのに苦労しているとのこと。

編集ページの割り振りを担当し、自宅で音訳データを作る。各自持ち寄り編集。



音訳を専用の再生機で楽しむ伊藤良治さん



皆さんの周りに視覚の障がいや文字が見えにくくお困りの方がおりましたら、那須町音訳ボランティアサークル泉の存在をお伝えください。



代表者の大平さんから説明を受ける。

課題

- 個人情報保護の観点から目の不自由な方の把握ができずに利用者を増やせない。
- 現在使用の機材、消耗品の購入に際しては民間の支援があったが、その機材が使用できなくなった時に更新できるか不安。

ご希望の書籍の音訳にも、対応しています。那須町内にお住いの方で、視覚に障がいをお持ちの方が対象です。

ご利用をご希望の方は、お気軽にご連絡ください。

お問い合わせは、那須町立図書館
電話 0287-72-5840

見聞後記

障がいを持たれた方も含め誰もが見やすい紙面づくりが今後重要になる。音訳利用者を増やすためには、実際にどんな音訳がなされているのか、多くの方に聴いてもらうことが課題。議会だよりにおいても音訳QRコードを付けるなど、障がいを持たれている方はもとより、その家族や一般の方にも聴いてもらえるよう、周知の在り方、仕組みの創出を検討するべきと感じた。

町民の声



弓落

ひら やま じん いち
平山 仁一さん

子育てに頑張る若いご夫婦の方が何組かいますが大変素晴らしいことです。今後を楽しみにしております。

私は、年金生活ですが「後期高齢者医療保険料」の負担割合が若干値上げされることには理解できますが正直つらいです。先ごろ発行されました「那須が大好き応援券」は大変助かりました。

少子高齢化が進むなか、これからも行政・議会が「町民の声」を聞いていただき、もっともつと住みよい「町づくり」を進めていただくことを期待したいと思います。

弓落地区は、約30戸の集落で居住者が90名程おります。人口比率は、60歳以上の方が約40%、15歳以下が20%と、まさに少子高齢化地区となっております。

ここ数年、「新型コロナウイルス感染症」の影響で地区内での交流が出来ず寂しい思いをしております。一日も早い「新型コロナ」前の生活に戻ることを願うばかりです。

以前は、老若男女が集い楽しい行事ができました。特に、子ども達との交流ではたくさんのパワーを頂き健康寿命を延ばす一助となりました。弓落地区では、出産・

3月定例会の予定 3月8日(水)～3月23日(木)

3月						
日	月	火	水	木	金	土
26	27 臨時議会	28	1	2	3	4
5	6	7	8 定例会 開 会	9 総括質疑	10	11
12	13 一般質問 (第1日)	14 一般質問 (第2日)	15 常 任 委員会	16 予算審査 特別委員会	17	18
19	20 予算審査 特別委員会	21	22	23 定例会 閉 会	24	25

議員全員協議会傍聴のご案内

開催予定(3月～4月)

3/3・3/29・4/26(9時～)

金 水 水

※開催予定は変更する場合がありますので、予めご了承ください。

議会のスケジュールは、町のホームページ「那須町議会カレンダー」から確認できますので、ご参考にしてください。



スマートフォンやタブレット端末から
那須町議会だよりを
読むことができます

トチギーブックス
TOCHIGI BOOKS

栃木県のすべてがそろう「電子書籍」ポータルサイト「トチギーブックス」

マヨを好きになるアプリ
マチイロ



音訳版

チェック!

164号から166号を掲載中。今号は3月ごろ掲載予定。



議会を動画で見よう。

12月本会議の様様をインターネットで動画配信しています。

那須町議会中継

検索



なすのそら保育園の

表紙の紹介

園児たちは、茶道を通して日本の伝統文化と和の心を学びました。「苦い」「おいしい」「足が痛い」と口にしながらも、先生への感謝の気持ちや周りの友達を大切に思う心が芽生えたようでした。

編集室

月日が経つのは早いもので、われわれ議員の任期も間もなく満了いたします。広報特別委員会では、わかりやすく手にとってもらえる紙面、そして町のさまざまな課題感を町民のみならずと共有できる中身をモットーに活動を行ってまいりました。議会広報は議会を映す鏡であります。時に「議員の顔が見えない」「議会の活動がみえない」という言葉をいただく事があります。議員一人ひとりの更なる努力はもとより、議会だよりの紙面づくりにおいても改善を重ねていく必要があると感じております。

最後に、議会モニターのみならず、また「町民の声」や「傍聴席」に寄稿くださった方、そのほか議会だより作成に関わってくださった多くの方々に感謝を申し上げますとともに、議会だよりが町民の期待や笑顔を映し出す「鏡」となる事を祈念いたします。

平山輝貴

議会広報特別委員会

委員長 平山 輝貴
副委員長 関 幸夫
委員 高橋 輝
委員 田村 浪行
委員 木村 秀一



那須高校1年生一人ひとりが町のことを考え、意見を出し合い、それをまとめたものを代表者(14名・8組)が、町議会議員へ一般質問しました。質問は、高校生目線での気づきや直面している課題など、多岐にわたる内容でした。いただいたご意見は町議会において協議・検討し、まちづくりに反映できるよう取組んでまいります。



模擬議会在教室で傍聴する那須高校生

那須町の道路の整備状況について



いがり ゆあな
猪狩 結杏奈さん

問那須高校付近のコメリ前横断歩道に、歩行者用信号機の設置はできないか。

答信号機設置の要望は、町が危険度や緊急性に依りランク付けし関係機関に要望している。調査のうえ、必要に応じて、町の要望書に加えるよう働きかける。



さとうしゅんたい
佐藤 舜大さん

黒田原駅の整備状況について



そうま たくま
相馬 拓磨さん

問黒田原駅の改札はSuicaが利用できないが、Suicaの設置をJRに要請する考えは。

答町は、黒田原駅の設備改修等について、毎年JRに要望活動を行っており、自動改札についても既に要望を行っている。引き続き、要望活動を継続するよう議会として町に働きかけていく。



ひらさわかずあき
平沢 和晃さん

黒田原地域の町おこしについて



ごとう たいせい
後藤 泰聖さん

問黒田原地域の町おこしについて、那須高校生が協力できることは。

答町商工会が町おこしに関わる事業に取組んでおり、那須高校生の意見も伺いたい。また、イベントなどにもご協力いただきたい。町議会は那須高校生が黒田原の町おこしに携わっていただくことには大賛成であり、町とともに応援していきたい。



すずき あおと
鈴木 蒼斗さん

那須町の道路の整備状況について



へんみ ともえ
辺見 巴さん

問自家用車以外で那須高原へアクセスする方法は。

答東京から湯本までは高速バスが、那須塩原駅や黒磯駅からは、レンタカー、路線バスやレジャー施設をまわる那須高原観光周遊バスがある。ホテル等では、那須塩原駅から独自で送迎バスを出しているところもある。



わたなべこうたい
渡邊 晃大さん

那須町の人口・世帯数について



たかく ゆうま
高久 侑真さん

問移住者を増やすための取組みは。

答町議会では、先進自治体を視察し、各地域の良い取組みを調査研究し、町に移住定住対策を提案している。今年度は「住みたい田舎ランキング上位」の市町村の視察を行った。



ましこうしゅうた
益子 修太さん

那須町の環境について



さとう あいり
佐藤 藍莉さん

問那須町と那須高校が連携して「オオハンゴンソウ駆除活動」を行っているが、他にも行うことができるボランティア活動は。

答自治会、商工会などが町の環境美化活動をしており、こういったところと連携する事も一つの方法。また那須高校の地域コーディネーターに相談し、環境団体と連携することも有効。



きくち ももえ
菊池 百恵さん

高校生模擬議会を開催

聞いてください



那須町の福祉について



よしなり そら
吉成 颯空さん

問黒田原駅入口から多目的トイレにかけて点字ブロックが無いが、設置可能か。

答黒田原駅入口から多目的トイレまではJRの所有地のためJRと協議が必要となる。議会から町に点字ブロックの設置についてJRと協議をするよう提案したい。

セクシャルマイノリティについて



いしだ よしの
石田 恵埜さん

問那須町が認識しているLGBTQに関する課題は。^{※1}

答偏見、差別、国内では同性婚が認められていないことが課題。また、公営住宅に家族として入居が認められない場合もある。本町の公営住宅は、所得の規制はあるが、同性のカップルでも県が発行する宣誓カードを提示することで、基本的に入居が認められている。

※1…Lesbian(レズビアン、女性同性愛者)、Gay(ゲイ、男性同性愛者)、Bisexual(バイセクシュアル、両性愛者)、Transgender(トランスジェンダー、性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人)、QueerやQuestioning(クイアやクエスチョニング、特定の枠に属さない人、わからない人)などの頭文字をとった言葉で、性的マイノリティ(性的少数者)を表す総称のひとつ

質問者、傍聴者(那須高校生含む)のアンケート(原文のまま)

傍聴者(高校生)

○那須町がこうなればいいなと思うことを教えてください。

- ◆活気に溢れるといいなと思う。
- ◆お店が多くなってほしい。
- ◆誰もが住みやすい町。
- ◆電車の本数をもっと増やしてほしい。
- ◆若者に人気な物があつたらいいなって思う。

傍聴者(一般の方)

○傍聴して気づいた点

- ◆質問者の発声が聞き取りやすく良かった。プレゼン能力が高く、将来が楽しみです。
- ◆高校生が自分の考えていることを、しっかりと質問していたので、とても素晴らしいと思いました。

○高校生に一言

- ◆良い経験ができたと思います。今日の経験を活かして自分の住む町が良くなるような提案活動を進めてください。
- ◆質問の内容、態度ともしっかりしていたと思います。自信を持ってください。さらなるステップアップを目指して頑張ってください。
- ◆今回の貴重な経験が、将来役に立つことを期待しています。

○模擬議会全般について

- ◆町の将来に希望がもてる議会でした。今後も続けていただきたいと思います。
- ◆議員さんがわかりやすく一生懸命に答弁していたことも良かったと思います。
- ◆町議会議員も高校生(分かり易い質問、真摯な態度など)から多くのことを学んだと思います。今後の糧にしてください。

質問者



○那須町がこうなればいいなと思うことを教えてください。

- ◆住みやすい町になればいいと思う。
- ◆人の流通が増え、賑わいが戻り多くの人が観光に来られるような綺麗な町。
- ◆人々が快適に過ごせる町にしたい。

なすまち 議会だより

那須高校生模擬議会

